

LGBT法 連合会

2021年11月吉日

2021年度 立憲民主党党首選挙
立候補者各位

性的指向・性自認に関する党首選挙アンケート ご回答のお願い

(一社) 性的指向および性自認等により困難を抱えている
当事者等に対する法整備のための全国連合会
(略称：LGBT 法連合会)
団体 URL：<http://lgbtetc.jp/>

謹啓 初秋の候、貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、(一社) 性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会(以下、「LGBT 法連合会」)の取り組みに、ご理解・ご支援を賜り誠に有難うございます。

当会は、性的指向や性自認に関する当事者、支援者、専門家などによる約80の賛同団体等から構成される連合体です。立法府に対する政策提言活動を通じて、法整備を実現し、当事者の困難が解消されることを目的に活動を展開しております。

昨今、性的指向や性自認に関しては、2021年6月に開催されたG7首脳会合における「G7カーピスベイ首脳コミュニケ より良い回復のためのグローバルな行動に向けた我々の共通のアジェンダ¹」に「LGBTQI+の人々に対する暴力及び差別に対処すること」また、個人の性と生殖に関する健康と権利(SRHR)の促進について「性的指向及び性自認を含む多様性への支援において果たす重要かつ変革的な役割を認識する」と記載され、G7構成国の国際公約が示されました。

一方で、日本においては2021年の5月に超党派の「LGBTに関する課題を考える議員連盟」において、初めて性的指向及び性自認に関する法案について与野党の合意がなされるなど、大きな前進があったものの、残念ながら法案の成立には至りませんでした。OECDの調査²によればLGBTの法的な包摂については日本は加盟国35ヶ国中、34位という結果になっており、早急な法整備が求められています。

このような中、今後の立法府の取り組みを考える上でも、貴党の党首を決めることとなる選挙において、各候補者がどのようなお考えをお持ちであるのか、広く社会に共有したく、ここにアンケートを実施、送付させていただいた次第です。ぜひとも本アンケートの社会的意義をご理解くださり、ご回答いただければ幸甚にございます。

なお、上記の趣旨から、ご回答いただいた内容は、当会のホームページ、または、そのリンク先のサイトで公表させていただく予定にしておりますので、予めご了承ください。

謹白

¹ 外務省ホームページ「G7カーピスベイ首脳コミュニケ」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100200083.pdf>

² OECD「Over the Rainbow? The Road to LGBTI Inclusion」2020年

LGBT法 連合会

ご回答・ご返送の方法についてのご案内（重要）

・メールでご返送いただける場合

返信用メールアドレス： まで、ご返送ください

届いた調査票にご記入の上、スキャンした電子データ（PDF）を添付いただき、ご送信ください。

・ファックスでご返送いただける場合

返信用 FAX 番号：

届いた調査票に、手書きでご回答いただき、それを上記のファックス番号に、ご送信ください。

・インターネットでもご回答いただけます

回答用 URL：

上記の URL、もしくは右記の QR コードから調査票にアクセスいただき、直接ご回答ください。

ご返送期日

11月26日（金） をめどに、なるべくお早めにご返送お願いいたします。受け付け順に、ご回答内容をウェブにて、公開させていただきます。

■本件に関するお問い合わせ先■

（一社）LGBT法連合会 事務局

性的指向・性自認に関する党首選挙アンケート

問1 性的指向・性自認に関する課題は人権問題であると考えていますか？

1. 人権問題であると考えている
2. 人権問題であると考えていない
3. その他（自由記述： _____）

問2 今回の貴党の総裁選挙の貴殿の公約に、性的指向・性自認に関する項目（「LGBT」や「SOGI」などに関する事項）は入っていますか？もし入っていないとしても、今後お取組みをされますか？

1. 公約に入っている
2. 公約に入っていないが、今後取り組む
3. 公約に入っていないし、今後取り組まない
4. その他（自由記述： _____）

問3 性的指向・性自認に関する差別は存在すると考えていますか？

1. 差別は存在すると考えている
2. 差別は存在しないと考えている
3. その他（自由記述： _____）

問4 「性的指向・性自認による差別をしてはならない」と明記した法律を制定するおつもりはありますか？

1. 制定するつもりである
2. 制定するつもりはない
3. その他（自由記述： _____）

問5 超党派LGBTに関する課題を考える議員連盟で今年5月に与野党合意に至った法案について賛成ですか反対ですか

1. 賛成
2. 反対
3. その他（自由記述： _____）

（次のページへ続きます）

LGBT法 連合会

問6 「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」は、前回改正（2008年）から13年が経過しており、3年の見直し規定が履行されていません。現行の規定には国際的にも批判が集まっています。改正するおつもりはありますか？下記の背景を踏まえて、お答え下さい。

1. 改正するつもりである
2. 改正するつもりはない
3. その他（自由記述 _____）

〔背景〕

戸籍の性別変更の要件は、性同一性障害特例法（2003年成立、2008年改正）で定められています。しかし、海外の現状と比べると要件が厳しすぎると指摘されています。現在要件外の当事者についても、円滑な社会生活を行えるよう、改正を求める強い要望が当事者団体などから出されています。たとえば、

「現に未成年の子がいないこと（子なし要件）」に関して

→未成年の子どもがいても、子どもが親の外見等の変更を受け容れていたり、円滑で安定的な就労による子の扶養のためにも、性別変更が望ましいと思われるケースが少なくない。性別変更を認める諸外国では、こうした要件を課す国はない。

「手術要件」に関して

→既に海外では手術を性別変更の要件にしない国が増えつつある（現在80ヶ国）。WHOの勧告にあるように、戸籍の性別変更手術を要件とすることは、人権上問題であり、身体的・経済的負担が非常に大きいことから問題であり、外すべきである。加えて、たとえば卵巣はあるが子宮がない（あるいは機能していない）ような場合にも手術を必要とするのは、不適切である。

候補者名（回答者名） _____

ご連絡先 TEL _____ MAIL _____

アンケートは以上となります。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。